

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2024年 12月 9日		～ 2024年 12月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	2024年 12月 23日		～ 2024年 12月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	2024年 12月 16日		～ 2024年 12月 28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	3	(回答数) 1
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学校と保護者(本人)の関係の強化	保護者に関しては、話の内容をよく聞いて、分析した上で学校へ気持ちの代弁を心がけている。 また、すべての機関は本人のすごしやすさを考えている事を基に、訪問支援の計画を立てている。	支援員としての技術の強化
2	環境整備	学校は、環境整備に力を入れている。本人の特質と何がどうあっているのかを言語化して伝える。	もっとわかりやすく提示できるように、見える化などを心掛けていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問支援員が少ない。	研修時間の確保が課題。	研修の内容（子どもの特質にあわせた教材などの研究時間が今以上に必要）
2			
3			

公表

## 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 みんなの居場所二ーム

2025 年 1月 31

公表日 日

利用児童数 3

回収数 3

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	100%					
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	100%					
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	100%					
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	100%					
適切か	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	100%					
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%					

は 支 援 の 提 供	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	100%					
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%					
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%					
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	100%					
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	100%					
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	100%					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%					
	18	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%					

	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%					
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	100%					
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	100%					
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	100%					
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	66.70%			33.30%		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	100%					
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100%					
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	100%					
	28	事業所の支援に満足していますか。	100%					

公表

## 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

2025年 1 月 31日

みんなの居場所二ーム

利用児童数

3

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	<input type="radio"/>			子どもの特性を的確にとらえており、助言や説明はわかりやすかった。	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	<input type="radio"/>				
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	<input type="radio"/>				
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。				訪問支援を利用していません。	保護者からの要請で行かせていただきました。学校の快く受け取っていただきました。ありがとうございます。
5	事業所からの支援に満足していますか。	<input type="radio"/>			学校の実情を保護者にわかりやすく事前に説明してくださっていたので、保護者ともコミュニケーションがとりやすかった。	先生に、本児の様子を細かく伝えていただいたので保護者に先生の気持ちを伝えることができました。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
教師と子どもとのかかわりだけでなく、学校全体を見て個と集団のつながりを助言していただき、保護者に伝えてもらったことは、今後の関わりに大きなプラスとなった。					わが子の学校の様子がわからないことが保護者の不安につながることをお伝えしました。先生から細かく、子どもの様子や友人関係などを教えていただき、観察して保護者に伝えることで、保護者の安心につながると考えています。親も学校もみんな子どもについて真剣に一生懸命考えています。子どもそれぞれみんな違うので、正しい、間違っているという判断ではなく、よりよくみんなが社会で楽しく過ごせるようにと協働しながら、今後もサポートさせていただけたらと思います。	

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		みんなの居場所二ーム		公表日			年	月	日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点			
環境 制・ 整 運 備 営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。			教材を持って訪問をしたことはない。学校の授業の状態などを見て、環境整備などは伝えている。				
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。			訪問人数は少ない。				
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。			全職員に周知はしていない。	訪問職員以外にも保育所等訪問内容を伝える。			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○						
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。							
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○					
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○						

適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		○		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。				職員間の共有はしていない。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。				教室の支援内容に反映している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			報告書を書き、教室の職員には報告をしている。
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○			訪問先と、保護者の良好な関係が大切と一番大切に考えている。	



	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○			記録、報告書を書いて提出、次回の支援につなげている。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			保護者とは毎回訪問のあと、今後の目標、モニタリングをして次回の訪問につなげている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○				
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○				
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。					保護者からの要望があれば、事業所での様子、本児の特性などを書いたものを紙面上で保護者に渡している。それを保護者判断で医療機関や、学校などに提出している。（今現在保育所等訪問の子どもはしていない。）
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○				ZOOMによる研修は受けている。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○				
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○				送迎の際、話を毎回している。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○				

保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	<input type="radio"/>			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>			必ず子どもにも聞くようにしている。学校の状態や何がどうなのかなど、子ども保護者の要望を聞いている。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		いつでも相談できる体制を整えている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>			年に数回イベントがあり、家族、兄弟が来る機会がある。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>			掲示をしているが、今後はSNSなどの利用も考える。
35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>				

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。				訪問先からの電話等などは適切に応じている。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○			その日のうちに、報告等をしている。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。				
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			

	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。			身体拘束はないが、虐待、身体拘束の研修は受けている。	
--	----	--	--	--	----------------------------	--